



小松市立安宅中学校 学校だより

智仁勇

10号 R6.2.7

小松市立安宅中学校長

笠巻 昭

立志の集いに寄せて

元日に発生した能登半島地震から一ヶ月がたちました。3学期の始業式では、能登半島地震を受けて、自分の命を大切にすること（命を守ること）、家族に感謝し今できることに精一杯取り組むことについて話をしました。現在能登半島では仮設住宅への入居など復旧や復興に向けた動きが始まる一方、1万人以上の方々が厳しい避難生活を余儀なくされています。一日も早く復旧や復興が進み、落ち着いて日常生活を送ることができるよう祈るばかりです。

さて、2月3日(土)に本校多目的ルームにおいて、安宅校下青少年健全育成協議会主催の「立志の集い」が開催されました。「立志の集い」で私が話したことを改めてお伝えします。

本日、2年生にとって大事な節目の機会である「立志の集い」を地域の方に作っていただきました。その「立志の集い」に際して、一言、皆さんへ激励の言葉をお伝えします。

私の好きな言葉に「継続は力なり」という言葉があります。もとは詩の一部であり「念願は人格を決定す 継続は力なり」というのが本来の言葉の並びです。私は、ここに出てくる「念願」という言葉が「立志」と同じ意味であると捉えています。皆さんには、将来の夢や目標はあるでしょうか。漠然としたものでもきっとあると思います。私は、将来の夢や目標をさらに一歩進めた志を立てること（=念願）が原動力となって、継続という行動につながり、人を成長させ、強くしていくと考えています。

元日の能登半島地震。人間は自然の前には無力なのかもしれません。今直面している厳しい状況を経験している若い皆さんだからこそ、「立志（=念願）」を土台に努力を積み重ね、一生を通じて人の幸せに貢献できる人に育ってほしいと願っています。ちなみにこの詩の題名は、「青年よ 強くなれ」です。仲間と切磋琢磨しながら「継続は力なり」を実践し、強く、大きく成長してください。皆さんの頑張りに期待しています。

立志の集い



書き初め大会



安宅中HP→
ぜひ、ご覧ください！

